

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	市田柿の魅力を高森から全国へつなぎ・つながる発信プロジェクト
事業主体 (連絡先)	高森町 (0265-35-3111)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,522,800 円 (うち支援金：1,142,000 円)

事業内容

高森町の特産品である市田柿の成長・生産過程を四季を通じた映像資料として記録・保存する。製作映像を活用し、市田柿の魅力を全国へ発信することで市田柿のブランド価値や知名度をより一層高めるとともに、地域の誇る市田柿であることを周知する。

【撮影内容】

- ◆四季を通じた市田柿の成長過程
- ◆市田柿が干し柿として市場に出されるまでの流れ
- ◆市田柿が高森町の特産品となる歴史
- ◆地元子どもたちとの関わりやプロモーション活動について

【上映実績】

- ◆熱中小学校オープンスクール（製作段階のものを試写）
- ◆日本映画大学上映会（最終段階のものを学生や町民の前で試写）
- ◆ゆうき料理教室（完成物を料理教室参加者（15人）に上映会）

事業効果

高森町の特産品である市田柿のPRにおいて、市田柿の歴史や成長・生産過程を伝えることのできる映像資料はなかった。今回の映像制作において、歴史をわかりやすくまとめ、かつ四季を通じた市田柿の成長を撮影することができ、高森町＝市田柿という印象をもていただくことができているという課題の克服に向けて、大きな武器となる映像を制作することができた。YouTubeへの掲載や、高森町CATVでの放映に加えて、町の商工会や市田柿推進委員会など、様々な場面で市田柿を広くPRするための映像資料として活用していくことで、市田柿のブランド価値や知名度を高めることができる。また、制作段階で様々な場面で試写会を行い、町内外の方の視点よりアドバイスをいただきながら製作を進めてきた。市田柿のどのようなことが知りたいのか、またPRすべきなのか改めて考えながら製作にあたることができ、幅広い場面で市田柿をPRすることのできる映像資料となった。

今後の取り組み

高森町に限らず、JAみなみ信州や長野県など幅広い団体・組織において、制作した映像を活用してもらい、高森町を中心として南信州全体で市田柿のブランド価値・知名度を高めていけるような取り組みにつなげていく。信州たかもり熱中小学校や東京六大学野球オールスターゲームなど、地域外から多くの方が訪れるイベント等で精力的に放映することで市田柿およびこの地域のPRを行う。



【ゆうき料理教室にて試写会】

【目標・ねらい】

- ①市田柿の成長・生産過程を映像資料として記録する
- ②多くの方に映像をチェックしてもらい、市田柿の魅力を隈なく盛り込む。
- ③幅広い場面で映像を活用し、市田柿のブランド価値・知名度を高める。

※自己評価【A】

【理由】 映像制作の過程において、生産者から町内外多くの方に見ていただきながら、市田柿の新たな魅力やPRの工夫についても併せて発見があり、映像の中に組み込むことができた。